

マダニに注意!



平成25年より、マダニを感染源とする感染症「重症熱性血小板減少症候群」の患者が日本国内において報告されており、死亡例も出ています。平成26年3月現在、福岡県での発生報告はありません。すべてのマダニがウイルスを保有しているわけではありませんが、この英彦山においてもマダニは生息していますので、登山や散策等の野外活動を行う際には、特に御注意ください。

大きさ 3ミリ~4ミリ
吸血後 10ミリ~15ミリ

マダニ



活動が盛んなのは
春~秋(3~11月)

かまれても痛みや
かゆみを感じず、
気づかないことが多い

野生動物のいる森林や
草地などに多く生息

【重症熱性血小板減少症候群(SFTS)】

潜伏期間は6日~2週間。症状は原因不明の発熱(38度以上)、腹痛、嘔吐、下痢、食欲の低下など。重症化すると、頭痛、筋肉痛、けいれん、せき、下血などが起こることもある。今のところ、有効なワクチンや治療薬はなく、対症療法が中心である。せきやくしやみからの飛まつ感染、空気感染はない。

⇒ 英彦山で野外活動研修を行ったあと、6日~2週間で発熱等の症状があらわれた場合、医療機関で英彦山での研修を行ったことをお伝えください。

【感染しないためには】

○野外活動の際には、長袖・長ズボンなどを着用し、肌を隠す。

○帰着後は、肌や衣服にマダニがいないか確認する。



【かまれたときは・・・】

一度かみつくと、強くくつき、数日にわたって吸血するので、無理に取らずにそのまま皮膚科を受診してください。無理に引き抜くと、マダニの一部が体内に残って化膿する場合があります。